

【令和5年度第3回農村振興施策検討委員会】

多面的機能支払交付金事業について

- 1 令和5年度の実績について（見込み） 【P1】
- 2 令和6年度の計画について 【P7】



第10回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト入選作品

～水土里ネットみやぎ会長賞「カラオクリ」（角田市）～

宮城県農政部農山漁村なりわい課

1. 令和5年度の実績（見込み）について

主な会議や研修会は、オンラインとの併用で開催しました。活動組織支援研修会は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、コロナ禍前の水準に戻し開催しています。また、各組織の事務の効率化を図るため、令和4年度に引き続き、活動支援研修会場において事務支援システムのデモンストレーションを行いました。

(1) 認定面積等

R6.2.9時点

	R4実績	R5実績	増減	対前年度
市町村数	33	33	0	100%
組織数	982	989	7	100.7%
認定面積 (ha)	75,137	75,625	488	100.6%
農振農用地の カバー率 (%)	64.5	64.9	0.4	100.6%

○取組市町村：33市町村（利府町、女川町を除く全市町村で取り組んでいる）

※ 令和4年度末で5年間の活動終期を迎えた活動組織が20組織あり、18組織が活動を継続、2組織が活動中止、新規組織が9組織設立されたことにより、7組織増となった。

		R4実績	R5実績	増減	対前年度
農地維持 (水路・農道等の基礎的な 保全活動を支援)	市町村数	33	33	0	100.0%
	組織数	982	989	7	100.7%
	対象面積	72,503	72,990	487	100.7%
資源向上(共同) (施設の軽微な補修, 農村 環境保全活動等を支援)	市町村数	26	26	0	100.0%
	組織数	633	641	8	101.3%
	対象面積	54,325	54,577	252	100.5%
資源向上(長寿命化) (施設の長寿命化のための 活動を支援)	市町村数	10	10	0	100.0%
	組織数	80	81	1	101.3%
	対象面積	10,289	10,924	635	106.2%

(2) 交付額

(単位:千円) R6.2.9時点

	R4実績	R5実績	増減	対前年度
農地維持	1,822,892	1,836,245	13,353	100.7%
資源向上(共同)	842,462	847,298	4,836	100.6%
資源向上(長寿命化)	114,306	115,965	1,659	101.5%
交付額計	2,779,660	2,799,508	19,848	100.7%

負担割合:国1/2, 県1/4, 市町村1/4

(3) 活動実績

① 農業・農村の多面的機能の維持・発揮に向けた取組み

I 農村の地域資源の保全管理面積の拡大に向けた取組み

- ・活動終期を迎える活動組織の継続について、事業を進める上での課題について関係市町村と意見交換会を実施
- ・活動組織の広域化及び事務受託等について、2土地改良区及び関係市町村との意見交換会を実施

開催日	土地改良区	市町村
令和5年9月7日	登米市豊里町土地改良区	登米市
	美里東部土地改良区	美里町

II 市町村の円滑な事務処理体制の支援

開催日	項目	会場	概要
令和5年4月21日	新規担当者説明会	仙台市 (web併用)	新たに担当者となった市町村及び県担当者への事業説明会
令和5年6月9日 令和5年11月27日 令和6年2月20日(予定)	市町村担当者会議	仙台市 (web併用)	市町村及び県担当者を対象に担当者会議を開催
令和5年9月～ 令和6年1月	中間確認	各市町村	活動組織を対象とした中間確認へ同席し指導支援

III 活動組織の円滑な運営の支援

- i) 農地維持支払・資源向上支払に係る対象組織支援研修会（登米市外：6会場）
- ・各活動の事務手続き等を説明（802組織出席）

	開催日	市町村名	会場名	出席者数(名)
1	令和5年7月25日	登米市	登米祝祭劇場	267
2	令和5年7月27日	加美町	中新田バツハホール	377
3	令和5年7月28日	大和町	まほろばホール	260
4	令和5年8月1日	栗原市	栗原文会館	263
5	令和5年8月2日	大河原町	えずこホール	295
6	令和5年8月10日	石巻市	遊楽館	129
7	令和5年8月18日	気仙沼市	はまなすの館	78
合計（※出席者は事務局除く）				1,669

農研機構講演動画の配信（R5.8.18～）

- ・事務支援システム実演会の開催（登米市外：6会場）

多面に係る事務の効率化や簡素化を図るため、事務支援ソフトを制作している3社が研修会場ロビーを活用して、事務支援システムのデモンストレーションを実施



デモの様子



会場の様子



農研機構 芦田上席研究員の講演

・自動草刈機実演研修会（加美町外：1会場）

活動中の事故が毎年発生していることから、草刈作業における安全管理及び斜面用草刈機等の導入による草刈作業の省力化、及び活動中の安全管理の啓発を行うため草刈り機の実演を実施。会場の都合上、開催市町周辺の組織を抽出して開催。

実施日	市町村名	出席者数
令和5年7月20日	加美町	50
令和5年9月29日	気仙沼市	63

実演協力会社
(株) 五十嵐商会
(株) キセキ東北
クボタアグリサービス (株)
やまびこジャパン (株)
ヤンマーアグリジャパン (株)



ii) 東北農政局が実施する抽出検査

実施日	市町村名	対象組織数	概要
令和5年10月20日	登米市	1	R4に実施した長寿命化活動の現地調査
	涌谷町	1	
令和5年11月14日	川崎町	5	R4に農地維持、資源向上（共同）を実施した組織の書類検査
令和5年12月5日	大郷町	5	



iii) 活動組織の広域化及び合併による体制強化及び取組継続の支援。

iv) 活動組織への事務支援

・活動支援研修会場において事務支援システムのデモンストレーションを実施。

② 多面的機能支払の広報活動

I 広報誌等の作成・PR活動

i) 広報誌「ぐるみ」を発行（年3回）して市町村及び活動組織に配布

ii) 協議会ホームページを随時更新。

iii) 宮城県図書館でのパネル展示（R510.13～27）



③ 事業の評価と推進課題の検討

I 宮城県農村振興施策検討委員会の開催

- i) 令和5年 6月14日 第1回宮城県農村振興施策検討委員会
- ii) 令和5年11月10日 第2回宮城県農村振興施策検討委員会
- iii) 令和6年 2月 9日 第3回宮城県農村振興施策検討委員会
(令和5年度実績、令和6年度計画等を報告)

II アンケート調査の実施

全活動組織へ事業実施の効果や今後の取り組みの方向性について確認。(集計中)

III 多面的機能支払交付金の施策評価

国においては、5年ごとに施策評価を行い次期の施策に反映させている。今年度は施策評価の年にあたるため、施策検討委員会に諮り意見を評価に反映した。

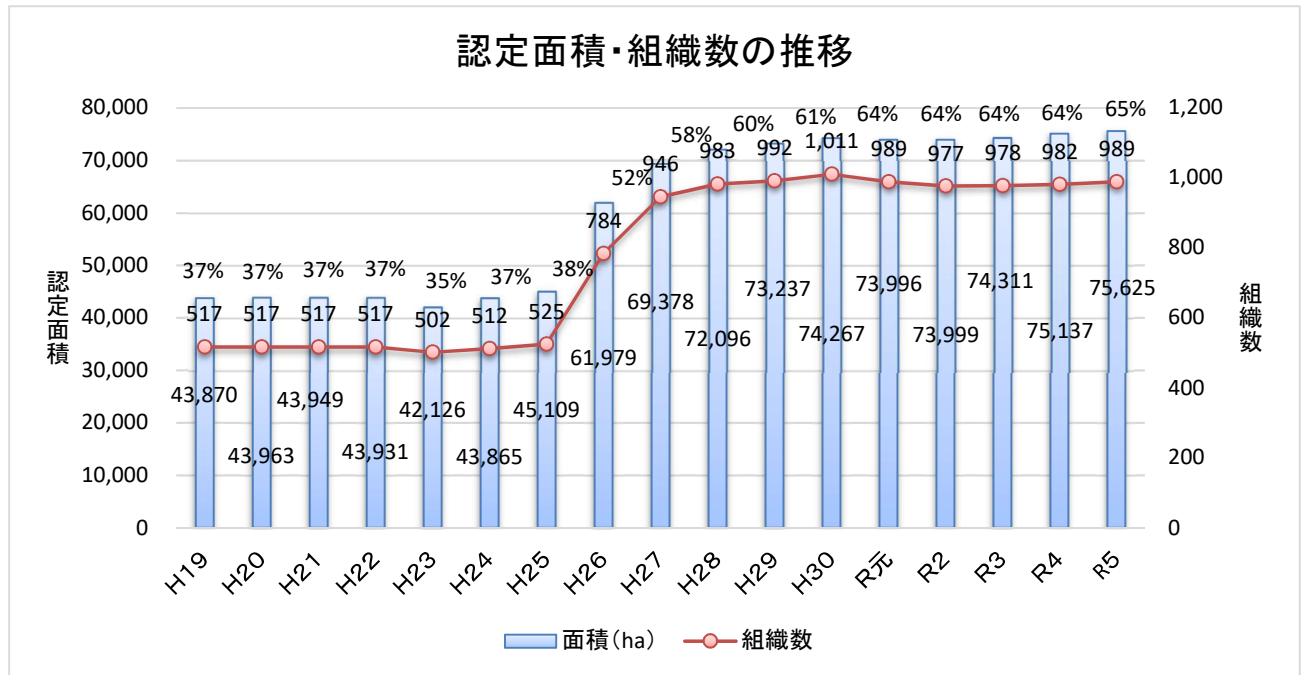
④ その他

I 推進協議会事務局会議（仙台市：土地改良会館等）

- i) 各活動組織の実施状況や市町村の指導状況等の県内情報共有を図り、効果的な指導助言を行うための会議を開催（R5.6.9）
- ii) 年間を通じ事業推進上の連絡調整を図るスタッフ会議を随時開催
- iii) 共同活動中の事故への対応
 - ・今年度14件（うち物損3件）の共同活動中の事故が発生したことから、関係機関へ注意喚起の文書を通知（1回）。活動組織へは活動支援研修会及び広報誌「ぐるみ」により注意喚起。

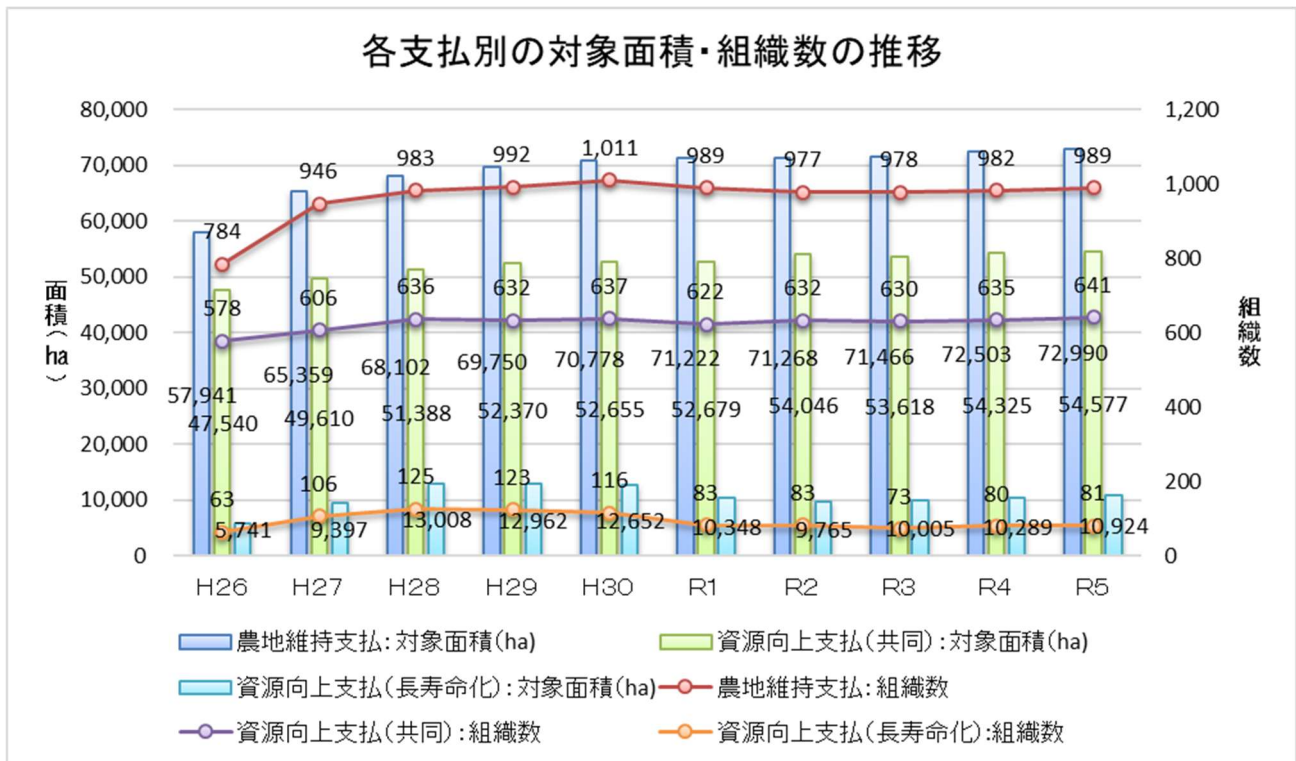
【 参 考 】

図1 事業の推移（認定面積・活動組織数）



※ 棒グラフ上段の数値は農振農用地に対するカバー率。

図2 各支払別の対象面積・組織数の推移



令和5年度 多面的機能支払交付金の状況

R5.12時点

区分	農振 農用地 面積 (ha)	(A)R4実績					(5)R5実績				(B)-(A)差引			
		取組 面積 (ha)	組 織 数	事業費 (千円)	農振 カバ- 率	取組 面積 (ha)	組 織 数	事業費 (千円)	農振 カバ- 率	取組 面積 (ha)	組 織 数	事業費 (千円)	農振 カバ- 率	
大 河 原	1 白石市	1,980	405	19	14,774	20%	409	19	14,871	21%	4	0	97	0%
	2 角田市	3,506	2,334	42	99,015	67%	2,360	42	100,407	67%	26	0	1,392	1%
	3 蔵王町	1,649	320	10	9,123	19%	320	10	9,123	19%	0	0	0	0%
	4 七ヶ宿町	449	186	5	5,573	41%	184	5	5,522	41%	▲ 2	0	▲ 51	▲ 0%
	5 大河原町	566	211	8	6,301	37%	208	8	6,202	37%	▲ 3	0	▲ 99	▲ 1%
	6 村田町	1,867	588	1	19,153	31%	588	1	18,847	31%	0	0	▲ 306	0%
	7 柴田町	802	646	13	28,432	81%	646	13	28,561	81%	0	0	129	0%
	8 川崎町	1,531	397	8	12,610	26%	397	8	12,610	26%	0	0	0	0%
	9 丸森町	2,669	1,373	37	63,706	51%	1,380	38	64,647	52%	7	1	941	0%
	計	15,019	6,460	143	258,687	43%	6,492	144	260,790	43%	32	1	2,103	0%
仙 台	10 仙台市	4,328	3,125	51	114,730	72%	3,231	52	119,020	75%	106	1	4,290	2%
	11 塩竈市	0	22	1	634	-	22	1	634	-	0	0	0	0%
	12 名取市	2,130	1,642	19	48,521	77%	1,690	20	49,464	79%	48	1	943	2%
	13 多賀城市	349	271	7	7,962	78%	271	7	7,962	78%	0	0	0	0%
	14 岩沼市	1,493	1,247	19	43,385	84%	1,247	19	42,521	84%	0	0	▲ 864	1%
	15 富谷市	436	295	6	6,852	68%	295	6	6,852	68%	0	0	0	0%
	16 亶理町	3,335	2,936	3	56,023	88%	2,936	3	56,023	88%	0	0	0	▲ 1%
	17 山元町	1,559	675	9	20,223	43%	693	9	20,646	44%	18	0	423	1%
	18 松島町	703	654	6	21,762	93%	654	6	21,762	93%	0	0	0	0%
	19 七ヶ浜町	194	120	1	3,601	62%	120	1	3,602	62%	0	0	1	0%
	20 利府町	223	0	0	0	-			0	0%	0	0	0	0%
	21 大和町	2,023	1,821	35	46,955	90%	1,821	35	47,294	90%	0	0	339	1%
	22 大郷町	1,669	1,390	16	49,185	83%	1,390	16	51,337	83%	0	0	2,152	0%
	23 大衡村	1,321	946	11	23,587	72%	946	11	23,588	72%	0	0	1	0%
計	19,761	15,144	184	443,420	77%	15,316	186	450,705	78%	172	2	7,285	1%	
大 崎	24 大崎市	16,175	10,287	150	486,350	64%	10,271	150	483,379	64%	▲ 16	0	▲ 2,971	▲ 0%
	25 色麻町	2,774	2,169	23	80,955	78%	2,167	23	84,263	78%	▲ 2	0	3,308	▲ 0%
	26 加美町	5,910	3,700	41	100,635	63%	3,700	41	101,370	63%	0	0	735	0%
	27 涌谷町	2,614	1,803	17	73,928	69%	1,803	17	73,619	69%	0	0	▲ 309	0%
	28 美里町	4,706	4,346	21	107,245	92%	4,346	21	107,174	92%	0	0	▲ 71	0%
	計	32,178	22,305	252	849,113	69%	22,287	252	849,805	69%	▲ 18	0	692	0%
栗 原	29 栗原市	17,260	8,797	136	402,901	51%	8,901	139	403,957	52%	104	3	1,056	1%
	計	17,260	8,797	136	402,901	51%	8,901	139	403,957	52%	104	3	1,056	1%
登 米	30 登米市	15,904	12,060	148	533,447	76%	12,187	150	540,628	77%	127	2	7,181	1%
	計	15,904	12,060	148	533,447	76%	12,187	150	540,628	77%	127	2	7,181	1%
石 巻	31 石巻市	9,761	7,484	18	199,459	77%	7,557	18	200,671	77%	73	0	1,212	1%
	32 東松島市	2,615	2,217	29	73,138	85%	2,217	29	73,573	85%	0	0	435	0%
	33 女川町	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0%
	計	12,376	9,701	47	272,597	78%	9,774	47	274,244	79%	73	0	1,647	1%
気 仙 沼	34 気仙沼市	2,590	517	60	15,003	20%	515	59	14,886	20%	▲ 2	▲ 1	▲ 117	0%
	35 南三陸町	1,374	153	17	4,492	11%	153	17	4,493	11%	0	0	1	0%
	計	3,964	670	77	19,495	17%	668	76	19,379	17%	▲ 2	▲ 1	▲ 116	▲ 0%
合計	116,462	75,137	982	2,779,660	64.5%	75,625	989	2,799,508	64.9%	488	7	19,848	0.4%	

※市町跨りがあり5組織あるため、合計で5減している。(大崎市と美里町, 東松島市と美里町, 登米市と栗原市)

2. 令和6年度の計画について

令和6年度の主な会議や研修会は、オンラインとの併用での開催を計画しています。(活動組織研修会は対面での開催を計画しています。)また、各組織の事務の効率化を図るため、令和5年度に引き続き、事務支援システムのデモンストレーションを開催します。

(1) 認定面積等

	R5実績	R6(計画)	増減	R6.2.9時点 対前年度
市町村数	33	33	0	100%
組織数	989	980	△ 9	99%
認定面積(ha)	75,625	75,295	△ 330	100%
農振農用地の カバー率(%)	65	65	0	100%

○取組市町村:33市町村(利府町, 女川町を除く全市町村で取り組んでいる)

(2) 活動計画

① 農業・農村の多面的機能の維持・発揮に向けた取組み

I 農村の地域資源の保全面積の拡大に受けた取組

i) 活動組織の広域化を契機とした未実施集落の取り込み

・活動組織に広域化の必要性やメリットを説明したうえで、未実施集落も含めた広域化を推進することで保全面積の拡大を図る。

ii) 土地改良区との連携による継続支援

・活動組織との連携により、土地改良区の維持管理費の負担軽減や事務受託収入などのメリットを説明したうえで連携や事務受託を推進し、活動組織の継続を図る。

II 市町村の円滑な事務処理体制の支援

i) 市町村担当者会議の開催：3回開催予定(仙台市：土地改良会館、県合同庁舎等)

ii) 新規市町村担当者説明会：(仙台市：土地改良会館)

iii) 活動組織を対象とした中間確認の実施：令和6年9月～12月まで実施。

iv) 東北農政局による現地調査、抽出検査への対応(令和6年10月、12月)。

III 活動組織の円滑な運営の支援

i) 農地維持支払・資源向上支払に係る対象組織支援研修会の開催

・各会場で活動組織に制度改正点や事務処理、機械の安全使用等の留意点を説明する。
・各会場で事務支援システムの普及推進を図る。

ii) 東北農政局が実施する施設の長寿命化活動の現地検査

・令和5年度に実施した活動組織を対象とした抽出検査への対応(令和6年10月頃)。

iii) 東北農政局が実施する活動組織抽出検査(書類)

・令和5年度の活動組織を対象とした抽出検査への対応(令和6年12月頃)。

iv) 活動組織の広域化及び合併による体制強化及び取組継続の支援。

・市町村や事務局を担う団体等を対象とした研修会を開催する。

v) 活動組織への事務支援

・農山漁村地域では、人口減少や高齢化の進行が著しく、担い手確保や地域の活動組織等

の合意形成に困難が生じ、特定の者へ事務作業が集中するなど、円滑な組織運営に支障をきたしている。そこで事務の効率化を図るため、令和5年度に引き続き、事務支援システムのデモンストレーションを開催する。また、地域外人材を活用し活動組織が抱える課題を解決することで、円滑な組織運営を支援する仕組みづくりを検討する。

② 多面的機能支払の広報活動

I 広報誌等の作成・PR活動

- i) 広報誌（2回発行）にて、当該事業で実施する各種会議や活動組織の取り組み事例を紹介する。
- ii) 協議会ホームページを更新し、事業の理解向上を図る。
- iii) 各種イベントでのパネル展示。

③ 事業の評価と推進課題の検討

I 宮城県農村振興施策検討委員会の開催

II アンケート調査の実施

- ・全活動組織へ事業実施の効果や今後の取り組みの方向性を確認。

④ その他

I 推進協議会事務局会議の開催（仙台市：土地改良会館等）

- i) 各活動組織の実施状況や市町村の指導状況等の県内情報共有を図り、効果的な指導助言を行うための会議を随時開催。
- ii) 年間を通じ、事業推進上の連絡調整を図るスタッフ会議を随時開催。

【広域化・事務委託の進捗状況について】

1 広域化の状況について

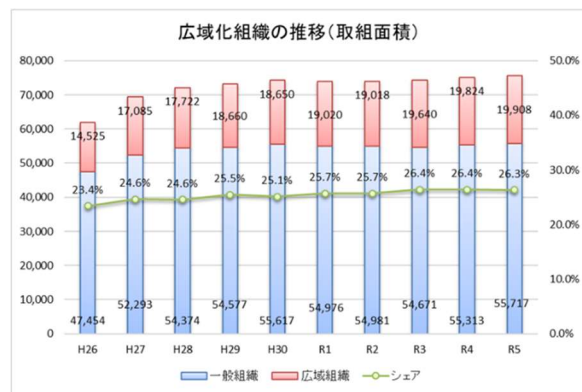
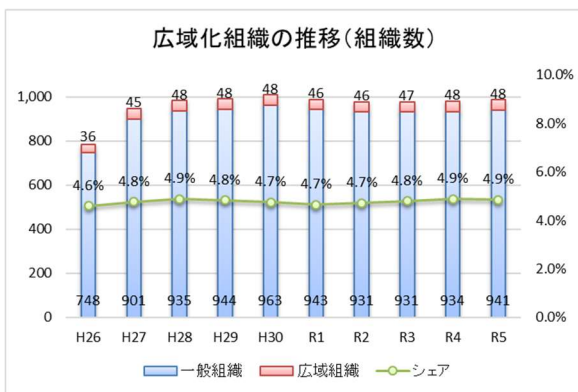
(1) 広域活動組織の現状

① 広域活動組織数と面積の推移

・広域活動組織は令和4年度と同じ48組織となり活動組織全体の4.9%である。取組面積のシェアは26.3%となっている。(広域活動組織の面積は増となったが、広域活動組織も含めた全体の取り組み面積も増となったため、シェア面積が減となったもの。)

【表1：広域活動組織数等の推移】

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
36	45	48	48	48	46	46	47	48	48
14,525	17,085	17,722	18,660	18,650	19,020	19,018	19,640	19,824	19,908
23.4%	24.6%	24.6%	25.5%	25.1%	25.7%	25.7%	26.4%	26.4%	26.3%

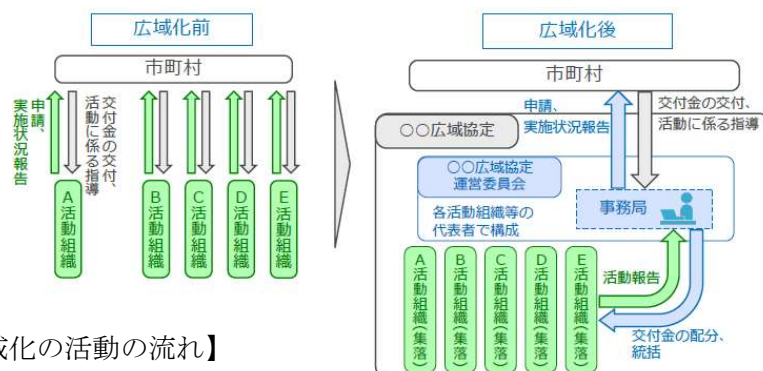


(2) 広域化を推進する理由

- ① 平成27年度制度改正により、交付事務が協議会から市町村となり、市町村職員の負担が増加していることから、事務の効率化を図る必要がある。
- ② 申請事務や会計など、各活動組織の役員の事務負担が大きく、なり手がいないことから、活動組織の合併・統合により、事務負担の軽減を進める必要がある。

〈メリット〉

- ・事務処理の統合により、交付事務等の負担が大幅に軽減。
- ・市町村から組織に対する連絡系統が集約化され、効率的な指導が可能。
- ・周辺の未取組集落が活動に取り組み契機となり、取組面積の拡大につながる。

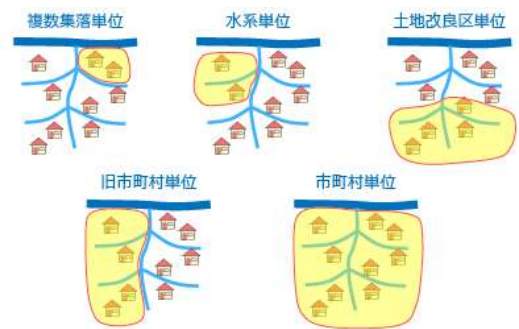


【図1：広域化の活動の流れ】

◆ 活動組織の広域化とは

- ・旧市町村区域等の広域エリアで、複数の集落又は活動組織及びその他関係者の合意により設立される、地域資源の保全管理を行う組織。
- ・規模 200ha 以上（生産条件が不利な農用地等が存在する場合には、50ha 以上 200ha 未満又は協定に参加する集落が 3 集落以上を有する場合には広域活動組織を設立することができる）

【図 2：広域協定の区域設定の単位】



2 土地改良区等への事務委託の状況について

- ・土地改良区へ事務を委託している組織は、令和 3 年度の 54 組織（全体の 5.5%）から増減なし
- ・活動組織と契約を締結して、事務を受託しているのは、令和 3 年度の 15 土地改良区から増減なし（主に活動記録や金銭出納簿、実施状況報告書の作成補助等を受託）
- ・協議会等（七ヶ宿町、村田町、丸森町）へ事務を委託している組織は 7 組織
- ・事務受託をしている 2 土地改良区との意見交換を実施。

【表 2：県内の事務受託の状況】

（令和 5 年 5 月 31 日現在）

管内	組織数	広域協定数	事務委託組織数	
			土地改良区	協議会等
大河原	<u>144</u> (143)	2 (2)	0 (0)	7 (7)
仙 台	<u>186</u> (184)	5 (5)	8 (9)	0 (0)
北 部	252 (252)	19 (19)	33 (30)	0 (0)
栗 原	<u>139</u> (136)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
東 部	47 (47)	18 (18)	9 (9)	0 (0)
登 米	<u>150</u> (148)	4 (4)	5 (5)	0 (0)
気仙沼	<u>76</u> (77)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	<u>989</u> (982)	48 (48)	56 (54)	7 (7)

※実数は令和 5 年度実績、() 内は令和 4 年度実績

※市町村跨りが 5 組織あるため、組織数計で 5 減にしている。(R 4 も 5 減)

70 日本型直接支払

【令和6年度予算概算決定額 77,330 (77,402) 百万円】

<対策のポイント>

農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動、中山間地域等における農業生産活動の保全に資する農業生産活動を支援します。

<政策目標>

地域の共同活動、中山間地域等における農業生産活動、自然環境の保全に資する農業生産活動による農業・農村の多面的機能の維持・発揮

<事業の全体像>

近年の農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられ国民全体が享受している多面的機能（国土保全、水源涵養、景観形成等）の発揮に支障が生じつつあることから、平成27年度から「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、地域の共同活動による多面的機能の発揮を促進する制度として実施しています。

↑ 多面的機能の高度な発揮

環境保全型農業直接支払
2,641 (2,650) 百万円

生産方式
に着目

有機農業



カバークロップ



堆肥の施用



↑ 多面的機能の発揮

活動内容
に着目

多面的機能支払
48,589 (48,652) 百万円

【資源向上支払】

- 地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る共同活動を支援
- ・水路、農道、ため池の軽微な補修
- ・生態系保全などの農村環境保全活動
- ・施設の長寿命化のための活動 等

水路のひび割れ補修



ため池の外來種駆除



【農地維持支払】

- 多面的機能を支える共同活動を支援
- ・農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的保全活動
- ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化 等

農地法面の草刈り



水路の泥上げ



※担い手に集中する水路・農道等の管理を地域で支え、規模拡大を後押し

対象地域
に着目

中山間地域等直接支払
26,100 (26,100) 百万円

- 中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正することにより、将来に向けた農業生産活動の継続を支援
- ・農業生産活動（耕作放棄の防止活動等）
- ・多面的機能を増進する活動（周辺林地の管理、景観作物の作付等）

中山間地域
(山口県長門市)



70-1 日本型直接支払のうち

多面的機能支払交付金

【令和6年度予算概算決定額 48,589 (48,652) 百万円】

<対策のポイント>

地域共同で行う、多面的機能を支える活動や、地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る活動を支援します。

<事業目標>

- 農地・農業用水等の保全管理に係る地域の共同活動への多様な人材の参画率の向上（5割以上〔令和7年度まで〕）
- 農地・農業用水等の保全管理に係る地域の共同活動により広域的に保全管理される農地面積の割合の向上（6割以上〔令和7年度まで〕）

<事業の内容>

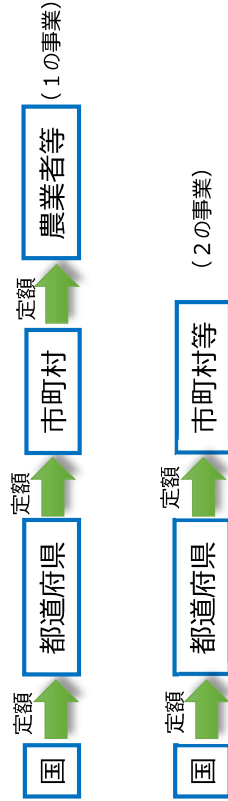
1. 多面的機能支払交付金 47,050 (47,050) 百万円

- ① 農地維持支払
地域資源の基礎的保全活動等の多面的機能を支える共同活動を支援します。
- ② 資源向上支払
地域資源の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動を支援します。

2. 多面的機能支払推進交付金 1,539 (1,602) 百万円

交付金の適正かつ円滑な実施に向けて、都道府県、市町村等による多面的機能支払交付金の推進を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

農地維持支払

- ・農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の泥上げ、農道の路面維持等
- ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、地域資源の保全管理に関する構想の策定等



農地法面の草刈り



水路の泥上げ



農道の路面維持

資源向上支払

- ・水路、農道、ため池の軽微な補修、景観形成や生態系保全などの農村環境保全活動等
- ・老朽化が進む水路、農道などの長寿命化のための補修等



水路のひび割れ補修



農道の窪みの補修



ため池の外來種駆除

実施主体：農業者等で構成される組織（①及び③は農業者のみで構成する組織でも取組可能）
対象農用地：農振農用地及び多面的機能の発揮の観点から都道府県知事が定める農用地

【交付単価】

	都道府県		北海道	
	①農地維持支払 (共同) ※1	②資源向上支払 (長寿命化) ※1,2,3	①農地維持支払 (共同) ※1	②資源向上支払 (長寿命化) ※1,2,3
田	3,000	2,400	2,300	1,920
畑	2,000	1,440	1,000	480
草地	250	240	130	120

(円/10a)

〔5年間で実施した地区は、②に75%単価を適用〕

- ※1：②、③の高源向上支払は、①の農地維持支払と併せて取り組むことが必要
- ※2：①、②と併せて③の長寿命化に取り組む場合は、②に75%単価を適用
- ※3：③の長寿命化において、直営施工を行わない等の場合は、5/6単価を適用

【加算措置】

項目	都道府県		北海道
	田	畑	草地
多面的機能の更なる増進	400	240	40
多面的機能の増進を図る活動の取組数を新たに1つ以上増加させる場合等	400	240	40
水田の雨水貯留機能の強化（田んぼダム）の推進	400	400	320

(円/10a)

【お問い合わせ先】 農村振興局農地資源課 (03-6744-2197)